

1 目指す学校像

教育目標 よく考える子 心ゆたかな子 たくましい子
「和」と「活力」にあふれる学校

- (1) 児童相互、児童と教職員、職員相互に温かいつながりがある学校
- (2) 学習や諸活動への意欲を高め、考える力や協働・思いやりなどを身につける学校
- (3) 運動に親しみ体力向上や健康・安全への関心・意欲を高める学校
- (4) 地域・保護者と連携し、地域社会の核の一つとなる学校

☆ 「和」にあふれる具体像

＜児童に関して＞

- ・ 明るいあいさつや会話がとびかっている。
- ・ 友達を思いやって行動する姿がみられる。
- ・ 迷惑をかけないよう気をつけている。
- ・ 協力して活動する姿が多くみられる。
- ・ 互いの個性や違い、伸びや努力を認めようとする雰囲気を感じられる。

＜職員に関して＞

- ・ あいさつや会話を気軽にしている。
- ・ 互いにサポートしようとする姿勢をもっている。
- ・ 互いの良さを認め、学ぼうとしている。
- ・ いろいろなことを気軽に相談し合っている。
- ・ 温かさやユーモアを感じさせている。
- ・ 学年や学校の方針に沿って、協働している。

☆ 「活力」にあふれる具体像

＜児童に関して＞

- ・ 知的な好奇心が旺盛である。
- ・ 向上心があり学習や各種活動への意欲がある。
- ・ 考えることに喜びを感じている。
- ・ 健全な批判精神や競争意識をもち、学び合い競い合っている。
- ・ 元気に運動している。

＜職員に関して＞

- ・ 児童と共に過ごす時間を楽しみにしている。
- ・ 日々の授業に工夫を加え、子どもの成長を喜んでいる。
- ・ 授業や指導の工夫を公開し合い、高め合っている。
- ・ 教育に関する建設的な討論をしている。
- ・ 共同の活動に進んで参加し、寄与している。
- ・ 運動や文化的活動に関心を寄せ、楽しんでいる。
- ・ 学校や学年の方針に沿って活動しながら、創意を生かし改善している。

1 中期経営目標と方策＜3～5年程度先を見据えて＞

(1) 人権尊重の精神、規範意識、奉仕の心を定着させる。

- 本校「生活スキル」を改善し、全校的に系統的な指導・振り返りを展開する。
- 生活指導基本5項目の徹底させる。
・ あいさつをしっかりする ・ 友達を「さん」「くん」つけてよぶ ・ 人の心や体を傷つけない ・ 危険なことをしない ・ 時間やきまりを守る
- あいさつ運動を充実させる。
- 道徳教育の充実を図る。
- 主体性・協調性を育む特別活動の充実を図る。
- 児童の自尊感情や自己肯定感を高める指導を充実する。
- 人の気持ちや考えを感じ取り、大切にすることができる能力を育成する。
- コミュニケーション能力、合理的な問題解決能力を育成する。

(2) 学ぶ力を育成・定着させる。

- 本校「学習スキル」を改善し、全校的に系統的な指導・振り返りを展開する。
- 学ぶ意欲や考える力、コミュニケーション能力、言語活動に関する能力、自ら課題をみつけ追求する態度等を高めていく指導を展開する。
- 学校図書館の活用や読書活動を充実させる。
- ICT器機を継続的に活用し、学習意欲・学習効果を高める。
- 新学習指導要領に応じた教材・教具等を蓄積・整備する。
- 一人一人の目標をより明確化し個に応じた指導を展開する。
- 「考える」ために必要な要素を分析し、学校として段階的に身につけさせる。

(3) 体力の向上・健康の保持増進・安全への態度を定着させる。

- 体育学習を充実させる。
- 運動の日常化を図る。
- 運動検定表の作成と活用を図る。
- 体育的活動の時間を設け、継続実施する。
- 体力テストの継続実施および結果の活用方法を工夫する。
- 健康教育を充実させる。〈非喫煙・薬物乱用防止・食育・心の健康・生活習慣病予防等〉
- 安全教育を充実させる。〈生活上の事故防止、防犯、交通安全、防災等〉

(4) 学校改善を推進する。〈学校力・組織力の強化、地域・保護者との連携強化〉

- 「教育計画」の充実・活用
年間の学校の動きがより詳しくわかる冊子作り
- 学年会の充実
 - ・週1回以上実施し、各学級の情報の共有、指導の方向性統一を
 - ・教材研究の分担、指導資料の共有・蓄積
 - ・交換授業、交流授業、合同授業の活発化
- 運営委員会の充実
事案処理はポイントを絞り最小限に。
周年行事準備に関する連絡調整を行い円滑な実行を目指す。
- 事案の流れの効率化
担当→主幹→素案配付〈ほとんどのものは教育計画に入れておく〉→
学年会→各部署で修正→必要があれば運営委員会で調整、校長決済
→職員会議で確認
- 各組織の活性化
アクションプラン（年間活動計画）作成し、いつまでに、だれが、
なにを、どうする を明確にし活動する。
- 情報発信の活発化
 - ・全学級で学級通信、予定表等を発行する。（2週に1回程度以上）
 - ・ホームページを月2～3回以上更新
- 個の指導の充実
 - ・教育目標の段階表を作成する。それと連動した6年間を通した
 - ・児童個人カルテを作成し、継続的系統的指導のため活用する。
- 地域の教育力・資源を生かしたの活動の推進
 - ・学習ボランティアの活用（積極的に呼びかける）
 - ・ゲストティーチャーのリスト作成・活用
 - ・地域活用マップ、リストの作成（自然・設備・行事など）
 - ・地域行事への参加（潮干狩り・川遊び・地区祭・スケート教室など）
- 夏季補充教室の充実
保護者・地域の人材活用を図る。
- 安全性と環境美化の確保
定期的な点検（複数で巡回）、美化・整備作業の実施

3 今年度の達成目標と方策

(1) 小中連携研究の成果をあげ、児童の意欲を高める。

◇児童アンケートで学ぶ意欲の高まりを7割以上が実感できることを目指す。

★研究を受け身で行うのではなく、児童の学習や活動への意欲を高めるために効果的な方策を、試行しながら模索し、まとめていく。〈研究授業8回〉

・どうすれば意欲や学ぶ力が高められるか。

＜目標は？学習過程は？教材は？しかけは？振返りは？どう工夫するか＞

＜興味・関心を引くか？わかりやすいか？技能・学び方は？＞

・教材、教具、資料、記録を残し、次年度も活用する。〈記録場所の明確化〉

(2) 体力の向上や健康・安全教育の充実を図る。

◇児童アンケートで、運動への意欲の高まりを8割以上が実感できることを目指す。

★体育学習の質的向上を図る。

・通常の体育学習を意欲や学び方・技能が身に付くものとするよう改善する。
(平成21・22年度研究紀要、指導計画作成資料等を参考に)

- ・体育科における学習規律、集団行動の徹底
- ・自分に合っためあてをもち、追求していく学習の展開
- ・学び合う姿勢を身につける学習の展開
- ・価値ある運動教材の選択
- ・意欲を高め、体力や技能を高める場の設定と工夫
- ・用具や学習カード等の整備
- ・体力テスト結果を踏まえた指導の工夫

★体育的な活動の充実を図る。

- ・体育的活動の時間を定期的に設定する。=「〇〇スポーツ」〈年20回前後〉
- ・遊具等の検定表の作成活用。
- ・休み時間、放課後等の運動の活発化日常化への取り組みや遊びの紹介
- ・夏季水泳指導の体系化統一化
- ・持久走大会、なわとび週間の充実
- ・持久走、なわとび、水泳等の目標カード、検定表の活用

★安全・健康に関する教育を進める。

- ・防災教育の充実
 - *地震発生時の具体的対応の指導 *防災訓練の改善 *震災発生時のマニュアル改善〈9月まで〉
- ・児童による安全マイマップ作りの実施〈3学年の実態に応じた内容で実施〉
- ・安全指導の全学年系統的な実施〈生活安全・交通安全・災害安全〉
 - *指導計画の改善〈9月まで〉
- ・食に関する指導の充実
 - *校内体制の確立 *中学校栄養教諭との連携 *指導計画の見直し
(平成23・24年度 小中食育分科会の動向を参考に)
- ・薬物乱用防止、非喫煙、生活習慣病予防、心の健康作り等の学習の実施
- ・セーフティ教室の充実

(3) 豊かな心の育成を図る。

◎児童アンケートで、自分の行動の変容を7割以上が実感できることを目指す。

★八坂小「生活スキル」に沿って指導実践と振り返りをし、徹底していく。

低中高ごとに「校内生活」の指導事項を統一的段階的に指導しする。

●人権について発達段階に応じた指導を積極的に推進する。

具体的学習内容と身につけるべきスキルについて、学校全体で系統的に活用できるよう検討していく。

●生活指導基本5項目について児童への意識化、指導の改善を図る。

- ・振り返りカードを作成し、児童・職員ともに1～2か月に1回活用する。
- ・成果・改善点を確認し、改訂していく。

★人との温かい関わり方を身に付けさせる。

- ・「いじめ」をしない、させないという意識を集団全体で高める。
- ・人を大切にしない言動を許さず、よい言動を実践させる。
- ・Q-Uテストによる実態把握と結果に応じた指導の実施。
- ・ソーシャルスキルトレーニングの実施。(ノウハウを学んでいき、実態に応じ実施する。)

○「心のノート」を必要に応じダウンロードして活用する。

○道徳授業公開講座の充実を図る。

指導案を学年で作成・検討し、教材を整備する。

○特別活動の改善、活性化を図る。

- ・児童会活動、学級活動、クラブ活動、学校行事のねらいや活動の具体例を明確化し、蓄積していく。
- ・あいさつ運動を見直し、より充実させる。・奉仕体験の取り組みについて検討する。

●特別支援教育を推進する。

- ・スクールカウンセラー、心のふれあい相談員との連携を強める。
 - ◆スクールカウンセラー・心のふれあい相談員は、経営計画に基づき、教職員との連絡調整を密にとり、児童・保護者との相談活動、教職員への指導・助言を適宜行う。
- ・特別支援教育の校内体制を確立し、ケース会議を開催する。
- ・個に応じた指導方法の工夫を収集・蓄積し、校内に広め、実施していく。

(4) 学ぶ力の育成を図る。

◎児童アンケートで、学ぶ力の向上を7割以上が実感できることを目指す。

★八坂小「学習スキル」に沿って指導実践し、練り上げていく。

- ・低中高ごとに「話し方・聞き方・調べ方・まとめ方」の内容を統一的段階的に指導し、成果・改善点を確認し、改訂していく。

●「週ごとの指導計画」の改善・活用を図る。

- ・目標、活動内容、評価の重点、指導上の工夫、学級の様子、個人の変容、指導や対応上の配慮、指導結果の記録等のうち数項目を適宜記入する。

●ICT器機活用した授業を各学級で継続的に行う。〈学期に3回以上〉

●「児童による授業評価」等を実施し、授業改善に生かす。〈年3回以上〉

●学校図書館の活用を図る。

〈年間5単元以上、調べ学習・読み広げなど活用した学習を実施する。〉

○授業改善、指導法改善を進める。

- ・小中合同研究の算数・数学分科会の動向を踏まえた授業の展開
- ・児童の関心、意欲を大切に学習活動の工夫
- ・考え、話し合い、深め合う活動の充実
- ・児童の「学習のふりかえり」や保護者による授業アンケートの活用
- ・体験的な活動や課題解決型学習の積極的な導入
- ・外国語活動の充実〈高学年35時間〉
- ・理解度に応じた学習資料、練習問題、ドリル等の整備
- ・語彙を増やす活動の工夫＝漢字、言葉、ことわざ、慣用句等の練習 視写、音読、読書、語り
- ・表現力を高める工夫＝スピーチ、ディベート、ポスターセッション、新聞作り、ミニ作文、日記
- ・小グループ(4人)による学び合い活動の導入〈中・高学年〉
- ・生活科、総合的な学習の見直し

1～2年の年間計画の見直し

3～6年を見通した計画見直しと整備、外国語活動の実施

各学年の中心テーマを設定し、重点的に実施する。

3年＝地域、安全、自然 4年＝福祉、人権 5年＝環境、産業 6年＝伝統、職業、世界

*各学年共通＝・コンピューターリテラシー・情報モラル教育・食育

安全教育(安全・防災マップ作りを含む)

○新学習指導要領の理解を深め、実践を通し教材等を検証し蓄積する。

○「考える」ことに必要な項目の分析を進め、段階的に指導する。

- <分析例>・変化や特徴に気がつく。・物事に関心を寄せる。・問題や課題を見出す。
- ・原因を分析する。・資料を収集、整理、活用する。・論理的に思考する。
 - ・思考のための知識や語彙を身につける。
 - ・体験や経験(読書等による間接体験も含む)を豊富にする。

(5) 学校組織の改善や個の力の強化を進める。

- 自己の長所や課題を明確化し、目標をもつ。〈自己申告書等を活用〉
資質に関する一覧表、経験年数別身につけるべき力一覧、
I T C活用チェックリスト、人権感覚チェックポイント等を活用
- 資質や力量の向上を自ら図る。
各種研修受講、文献・先行研究事例集の研究、自主研修、
先輩等に指導を仰ぐ
- 学校組織等の改善について検討する。
内部評価や各組織の記録、反省等から
事務・区職員等を含む分掌の見直しと改善
- 学校事務の適正で効率的効果的な実施
 - ◆事務職員・学校事務の中核として、予算・執行・経理・施設・備品・消耗品
給与・旅費・福利厚生等に関する業務を行う。
 - ・学年会計、給食会計への指導・支援等を行う。
 - ・副校長と連携し、調査回答、各種通知等の印刷・発送等を行う。
 - ・交換便、メール等の収受・整理等を行う。
 - ・給食会計事務を確実に進行。(未納の防止・解消)
 - ・学年会計事務を適正に実施する。(会計簿の作成)
- 学校給食の充実く安全でおいしく、バランスのよい給食の実現>
 - ◆学校栄養補助員・献立の研究と作成、指導資料の作成、給食だよりの発行
確実な発注、支払、書類整備などを行う。
 - ◆調理員・人間関係を構築しチームワークを高め、安全・確実な作業を行う。
学校栄養補助員と連携し、給食内容の充実を図る。
 - ・安全な食材の確保、食中毒防止、異物混入等の事故防止を徹底する。
 - ・親子料理教室の実施<八坂中・豊溪小と合同>
- 学校環境の整備・美化の推進
 - ◆用務主事・校内環境の整備・美化の中核として、関連作業を行う。
 - ・リサイクル、廃棄物等に関する作業・指導・支援を行う。
 - ・教職員・事務職員等と連携し、施設設備・物品の安全管理・
補修・作成・設置等を行う。
 - ・来客接待、物品受入、搬送等の作業を行う。

4 今年度の数値目標

- (2)～(4)について、保護者アンケートをとり、
「学校の取り組みについて」「児童の変容について」肯定的な評価が、
昨年度より多く得られるようにする。
- 児童によるアンケートをとり、教育活動の充実度を評価する。〈再掲〉
- 学級通信を月2回以上出す。〈再掲〉
- I C T器機活用した授業を、各学級で学期3回以上行う。〈再掲〉
- 学校図書館を活用した学習を、年間5単元以上実施する。〈再掲〉
- 地域行事等に2回以上参加する。
(育成委員会) 見学5/19 川遊び7/28 スケート教室11/23、2/23
(地域・町会) 地区祭10/28 町会運動会10/20(予定)
盆踊り 八幡神社7/20、21 八坂神社7/
子ども縁日11月～12月(予定)